

2024年度賃金改善及び夏季一時金等に関する第4回団体交渉（5月13日 13:30~14:10）

- ◆会社の再検討結果は、第2回団体交渉における回答から変更なし
- ◆交渉を続けても会社回答に変更はないと判断し、今後にむけた主張をおこない、示された回答をもって妥結する

-労働組合主張要旨-

- 世の中の変化への対応や会社業績の適正な還元、さらには人への投資について、会社が思っていることと、働く私たちが思っていることとの間に大きな乖離があると言わざるを得ない。
- 交渉の場は、会社の考えや想いを明らかにすることとあわせて、働いている組合員・従業員が感じていることを共有することによって、会社がより成長できるようにしていくための場であると考えている。
- 会社として真剣に従業員のことを考えて回答しているのであれば、どのような観点から精一杯の回答であるのかについて、わかりやすく話していただきたい。
- プラスのスパイラルのなかの一つである「人への投資」として、賃金等の労働条件改善のみならず、福利厚生や働き方改革など、その時々においてできることを実践していただき、それらを従業員が実感できることによって、スパイラルは回ると考える。
- 生活のベースとなる賃金や一時金は、引き続き伸びていくことが必要だと思っている。効率化だけでなく、成長にともなう利益の向上分も原資として考えていただき、成長にむけた人への投資の配分を高めることを意識していただくことをお願いするとともに、そのような経営をお願いしたい。

-会社回答要旨-

- これまでの交渉内容を踏まえて、社長はじめ経営幹部で改めて話し合いをおこなったが、回答内容に変更はない。
- 当初意識していた数字よりもさらに上積みした回答であることは間違いなく、会社として回答できるもの以上に踏み込んで賃金改善をおこなった。
- 現状で良いと言ってるわけでは決してなく、今後を踏まえて、常に会社として精一杯やることを考えながら、前を向いて、未来をみて、さまざまな対応をしていく。それに対してみなさんのご協力をいただきたいと思っている。
- 従業員一人ひとりがパフォーマンスを発揮できるように、後方施設の改善を含めた働きやすさの改善と、チームワークやフォロー体制等にとりくんでいきたい。
- 従業員へ伝えていくことは重要であり、労使として状況を正しく認識することも重要だと思っている。会社の状況については、今後もさまざまな場面でお伝えしていきたい。

第4回団体交渉の詳細は、のちにニュース速報を発行しますのでご確認ください。